VN シリーズ

仕様書

VND 厚さ測定器（2 ㎜レンジ）

型名コード / 付加仕様コード（付加仕様コードは指定をしない場合は記入不要）

・変換器

VND - □□□ A - □

厚さ測定レンジ		変換器出力	
020	0.0 mm～2.0 mm	0	電圧出力 (0 V～2 V)
		2	電圧出力 (0 V～10 V)

・延長ケーブル（長さ 6m）

NW - 100 □

熱電対	
A	なし
B	付き

・センサ（長さ 0.5m）

NS - □□□□

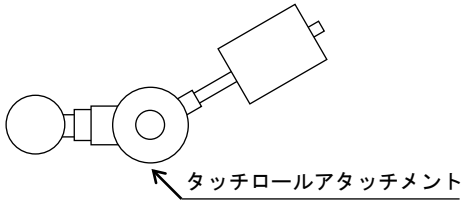
厚さ測定レンジ		熱電対	
020	0.0 mm～1.0 mm および 0.0 mm～2.0 mm	A	なし
		B	付き

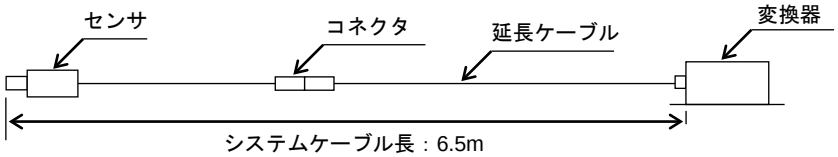
・タッチロールアタッチメント

NT - □□□ A /AG □ /SGL /NWT

仕様		角度		首振り制限：水平±15°	錘なし
020	NS-020□用	0	0°		
		1	10°		
		2	20°		
		3	30°		
		4	40°		

構　成





VND 厚さ測定器（2 ㎜レンジ）

仕　　様

変換器	VND-020A-□
延長ケーブル	NW-100□
センサ	NS-020□
厚さ測定レンジ	0.0 mm～2.0 mm (実ギャップ：0.8 mm～2.8 mm)
センサ オフセットギャップ	0.8 mm
校正ターゲット	チルド鋼 (フラット)
標準感度	1.0 V/mm, 5.0 V/mm
直線性	±0.5 % of F.S. (6 点または 11 点調整時)
ゼロシフト範囲	約±20 % of F.S.
分解能	1 μm
デジタル表示	7 セグメント LED 5 桁 (橙色) 厚さ表示 4 桁(単位 mm), 符号 1 桁
デジタル表示精度	±0.005 mm
表示 LED	Power (赤色) Meas. (緑色) Teach (緑色) Cal. Z/S (緑色)
周波数応答	DC～20 Hz (-1 dB typ.)
出力インピーダンス	100 Ω
使用温度範囲	センサ　　: -30 °C～+130 °C (コネクタ部は-25 °C～+85 °C) 延長ケーブル　: -25 °C～+85 °C 変換器　　: 0 °C～+50 °C
温度特性 (温度ドリフト)	センサ　　: ±1.5 % of F.S. 条件 ギャップ:厚さ測定レンジの 50 %, ターゲット:チルド鋼 (フラット), 温度: +25 °C 基準で 0 °C～+100 °C の範囲 延長ケーブル　: ±1.5 % of F.S. 条件 ギャップ:厚さ測定レンジの 50 %, ターゲット:チルド鋼 (フラット), 温度: +25 °C 基準で 0 °C～+80 °C の範囲 変換器　　: ±1.5 % of F.S. 条件 ギャップ:厚さ測定レンジの 50 %, ターゲット:チルド鋼 (フラット), 温度: +25 °C 基準で 0 °C～+50 °C の範囲
使用湿度範囲	20～95 % RH (非凝結, 非浸せき)
電　源	+24 VDC ±10 %、リップル(p-p) 10 % 以下
消費電流	最大 120 mA
端子台	端子台ねじサイズ M3
変換器部絶縁抵抗	電源端子-FG 端子間： 500 VDC 時　20 MΩ以上
変換器部耐電圧	電源端子-FG 端子間： 500 VAC 時　60 Hz　1 分間
質量	センサ　　:約 0.3 kg 延長ケーブル　:約 1.3 kg 変換器　　:約 1.0 kg

その他

ご使用上の注意事項

1. 本機使用にあたりご準備いただくもの
   変換器の取り付けにM6ねじまたはM6ボルトが4個/台必要です。
   本機の調整に20% of F.S.ピッチ(6点調整時)または10% of F.S.ピッチ(11点調整時)の隙間ゲージが必要です。
   使用する隙間ゲージの精度が測定精度に依存しますので、要求精度に合ったものを使用してください。
2. 本機の組み合わせについて
   センサ、延長ケーブル、変換器は、変換器銘板または検査成績表に記載された製造番号の組み合わせで接続ください。
   製造番号の組み合わせを間違えると仕様を満たさない場合があります。
   センサ、延長ケーブル、変換器を単品にて出荷する場合は、弊社基準器との組み合わせにて動作確認を行っております。実際に使用されるセンサ、延長ケーブル、変換器の組み合わせにて変換器の校正を実施の上、ご使用願います。
   変換器の校正方法は、取扱説明書をご参照願います。
   なお、センサ、延長ケーブル、変換器の単品出荷時の
   温度特性(温度ドリフト)は、
   センサ:±1.5 % of F.S. (典型値),
   延長ケーブル:±2.2 % of F.S. (典型値),
   変換器:±2.2 % of F.S. (典型値)
   となります。
   なお、延長ケーブルを単品にて発注される場合は、組み合わせ使用するセンサのレンジ情報を連絡ください。
3. 計装機器へ接続する信号伝送ケーブルのメガテストについて
   信号伝送ケーブルのメガテストを行った場合、テスト後は必ず充電電荷を放電した上で、ケーブルを変換器に接続してください。
   充電状態のまま変換器または計装機器にケーブルを接続すると故障の原因となります。
4. センサの設置場所について
   センサに雨水がかかる屋外では使用しないでください。
   センサの感度変化及び絶縁低下の原因となります。